

住み慣れた地域で生活できる

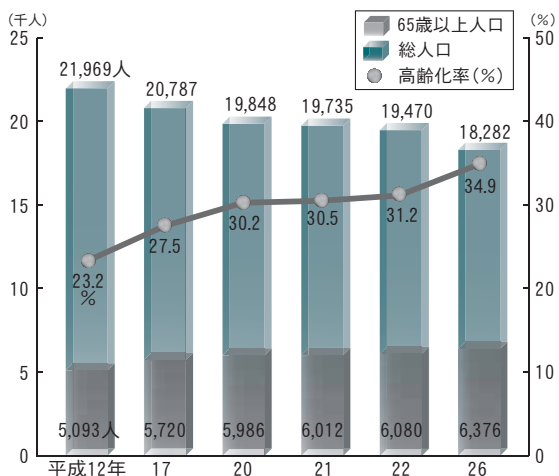
まちづくりを目指して

高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画を策定



いつまでも笑顔でいきいきと暮らせるよう、計画にはさまざまな施策が盛り込まれています
(昨年7月に開かれた飯岡地区「お座敷広場」)

◆本町の高齢化人口と高齢化率の推移



※住民基本台帳の数値及び同台帳による推計

町では、「高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」を策定しました。同計画は3年ごとに見直しを行うことになっており、平成21年度は計画期間の初年度に当たります。今後3年間、この計画に基づき、高齢者の皆さんが慣れ親しんだ本町で安心した老後を送ることができるようまちづくりを目指します。

本町の平成12年度の高齢者人口(65歳以上)は、5093人(高齢化率23・2%)でしたが、今後、団塊の世代といわれる人々が高齢者となる平成26年度には6376人(高齢化率34・9%)にまで達すると予想されており、3人に1人が高齢者という超高齢化社会が間近に迫っています。

急速に高齢化が進行する状況で、高齢者が安心して生活するために、身近な地域での支え合いや地域ケア体制の充実が重要です。また、介護保険サービスにおいては、サービスを利用したいときに利用できる量と質の確保など、今後ますます増加するニーズに対応できる基盤の整備が求められています。

「高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」は、第3期計画からの介護予防重視の施策をさらに推進し、地域で支え合う在宅系サービスに重点を置いたものになっています。

予防体制をさらに充実

生涯を通じて元気に暮らすためには、介護状態にならないよう一人一人の状態に合った予防を行うことが大切です。

計画では介護予防体制の充実を重要課題としており、各地区での介護予防教室や気軽に参加できる各種健康教室など高齢者

